科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期 卒業要件	教職課程 保育士 音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C01 ピアノ I	田中 幸子・塩津 貴子・木村 博子	- クラス分け	1 単位	未来創造学科 1年次	前期 必修	選択必修 選択必修 選択必修	DE
授業のテーマ及び到達目標			授 業	計画			
こどもの自発的な音楽性を育てる ビアノ演奏を身につける。童韻や 自由な創作を通してこどもの心と 感性を豊かにするためのビアノ実技 の基本を学ぶ、演奏姿勢、タッチ、	回 学修内容 1 全体会: オリエンテーションとピアノ基礎奏法	事前学修 教科書に目を通す	事後学修 授業の復習	9 強弱法とテンポ	学修内容	事前学修 音楽基礎演習の復習 と課題曲の練習	事後学修 授業の復習
知る。コードについて理解し、即興 で伴奏がつけられるようにする。	2 演奏姿勢と指の形	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。			奏ワークショップ(1)	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	
	3 打鍵と手首の使い方	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。		11 三和音の弾き方		教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	
授業の概要	4 楽譜の読み方	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業の復習	12 転回形の作り方		音楽基礎演習の復習 と課題曲の練習	授業の復習
保育園・幼稚園現場で実践できる ピアノ実技を、各人の習熟度に合わ せて導入・基礎から学ぶ。個人レッ スンでテクニックの基本を身につけ	5 運指の基本	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業の復習	13 七の和音の弾き	方	音楽基礎演習の復習 と課題曲の練習	授業の復習
ると共に、童謡の歌詞や情感を理解 し表現するワークショップを取り入 れる。またコード奏の基本を学び、 こどもと即興で音楽に関わる基礎力	6 全体会: 童謡ワークショップ	童謡について調べる	授業の復習	14 メロディーと伴	奏	課題曲の練習	授業の復習
をつける。	7 歌詞とフレーズ	課題曲の練習	授業の復習	15 全体会: まとめとコード	奏ワークショップ(2)	全体的な復習と課題 曲の練習	試験曲の練習
	8 リズムの基礎	音楽基礎演習の復習と課題曲の練習	授業の復習				
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっぱいのうた実践子どものうた 術社),こどものうた200(小林美実編 チャイル 200(小林美実編 チャイルド社)	レド社),続・こどものうた	評 平常点	評価方法(ピアノ実技)	00%	評価のポイント フレーズ感 習状況、レッスンへの取り組む	⊋姿勢
	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友 歌(小林美実編 東京書籍)	社),音楽リズム・幼児の	基準		İ		

科目名		担当者	担当形態	1	単位数		対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C02 ピアノII		田中 幸子・塩津 貴子・木村 博子	クラス分け	:	1 単位		未来創造学科 1年次	後期	必修	選択必修	選択必修	選択必修	DE
授業のテーマ及び到達目標					授 業	È	計 画						
童謡と、保育現場でこどもに寄り添	回	学修内容	事前学修	事	後学修	口		学修内容			事前	事後学修	
う音楽を探求する。読譜力と即興力 を上げ、こどもの音楽的発達に応じ た適切な音楽を提供ができるように する。コード奏の応用力をつけ、こ		全体会: ピアノIの復習	ピアノIの復習	授業内	授業内容の復習		9 歌詞表現とリズム、テンポ					百	授業内容の復習
どもとの即興的な音楽作りができる ようにする。	_	コード奏の展開〜分散和音の種類と 弾き方	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業内	容の復習	10	全体会:コード	奏のワークショ	ップ (2)	그 習	ード奏(1) の復	授業内容の復習
	3	コード奏の展開~変化和音の練習	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業内	容の復習	11	童謡のフレージ	ング		課	題曲の練	授業内容の復習	
	4	コード奏の展開〜メロディーの装飾とリ ズム奏	課題曲の練習	授業内	容の復習	12	即興伴奏の基礎			課	題曲の練	習	授業内容の復習
接業の概要 ピアノ1で学んだ基礎を向上させ、 きれいな音で情感豊かなピアノが弾 けるようになることを目指す。童謡 の中でも、生活のうた、季節のう	5	全体会:コード奏のワークショップ (1)	コード奏の復習	授業内容の復習		13	即興伴奏の展開		課	題曲の練	四日	授業内容の復習	
た、遊びうたなど園生活や子供の日 常に結びついた様々な歌を学んで、 生活と音楽が結びつくようにする。 コード数を増やすとともに、コード	6	「生活のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。			14	弾き歌いの基礎		課	題曲の練	習	授業内容の復習	
展開技法も学び、より自由な音楽表 現ができるようにする。	7	「季節のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業内	3業内容の復習		まとめと復習		2.習	れまでの	内容を復	試験曲の練習	
	8	「遊びうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を 読み、課題を練習す る。	授業内	容の復習					i			
		数訂ポケットいっぱいのうた実践子どものうた(鈴木恵津子他 教育芸術社),こどものうた200(小林美実編 チャイルド社),続・こどものうた				評価方法		割合(%)			評価の	ポイント	
教科書・テキスト等		俯忙),ことものうだ200(小林美美棚 デヤイルト仕),続・ことものうだ 200(小林美実編 チャイルド社)			期末試験 (平常点	(ピアノ実技)		80% 20%	テンポ、フレーズ感 毎回の練習状況、レッスンへの取り組む			の取り組む	:姿勢
参考書・参考資料等		の童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社 **(小林美実編 東京書籍)	と),音楽リズム・幼児	基準									

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディブロマポリシー
KC1M1C09 声楽 I	村橋 和子・小松野 希海	単独	1 単位	未来創造学科 1年次	前期	必修	選択必修	必修		AD
授業のテーマ及び到達目標			授	計画						
50曲の歌唱を行い、その内こどもの 歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場 で即座に使える歌の音楽力を身につ ける。	回 学修内容 1 オリエンテーション 声楽の発声について理解する。授業の進 め方を把握する。	事前学修 シラバスを熟読する	事後学修 こどもの歌につい て調べる	回 9 発声、コンコー 物、水遊び)	学修内容 ネ50番、こども	の歌(食べ		事前: 科書の知 を歌唱す	っている	事後学修 授業で歌唱した曲 を暗譜する
	2 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(生活 の歌)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	10 発声、コンコー動物)	ネ50番、こども	の歌(秋、		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する
	3 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(入 園、卒園、誕生会、七夕、夏休み)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	11 発声、コンコー雪)	ネ50番、こども	の歌(冬、		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する
授業の概要	4 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリ スマス、お正月、節分、ひな祭り)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	12 発声、コンコー	ネ50番、こども	の歌(クリ		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する
歌う事の基本である呼吸法、発声法 を学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、手 遊びを含む様々なこどもの歌にふれ ながら、歌詞も理解し、曲に合った	5 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(春、花)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	13 発声、コンコー 物、遊び)	ネ50番、こども	の歌(乗り		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する
表現や工夫も身につける。また集団 を動かす声作り、声に使い方につい ても学ぶ。また音楽に合わせて身体 を動かし、リズム感を養う。さらに	6 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(とも だち、先生)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	14 発声、コンコー 課題曲の復習)	ネ50番、こども	の歌(試験	試る	験課題曲	を暗譜す	授業で歌唱した曲 を暗譜する
は童謡の作曲家についても学修す る。適宜、個人レッスンを行う。	7 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(雨、動物)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する	15 まとめ(課題曲の	1の歌唱による試験)			試験課題曲を暗譜する		授業で歌唱した曲 を暗譜する
	8 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(夏、 海)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で歌唱した曲 を暗譜する							
	改訂ポケットいっぱいのうた実践子どもの歌(教 ネ50番 中声用(全音楽譜出版社)	育芸術社), コンコー	評 期末テス	評価方法 態度・行動観察) ト	割合(%) 20% 授業への集中、 80% 歌唱による試験				ポイント 組み	
参考書・参考資料等			基準							

科 目 名		担当者	担当形態	1	単位数		対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C10 声楽Ⅱ		村橋 和子・小松野 希海	単独		1 単位	***	未来創造学科 1年次	後期	必修	選択必修	必修		AD
授業のテーマ及び到達目標					授 業		計 画						
50曲の歌唱を行い、その内こどもの 駅15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場 で即座に使える歌の音楽力を身につ ける。	回 1	学修内容 オリエンテーション 発声、コンコーネ50番、こどもの歌	事前学修 シラバスを熟読する		後学修 習曲を復習	9	発声、コンコー: ング)	学修内容 ネ50番、こども	の歌(CMソ		事前: 科書の知 を歌唱す	っている	事後学修 授業で歌唱した曲 を暗譜する
	2	(前期既習曲) 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ 物、乗り物)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜			発声、コンコースおかあさんといっ			科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する	
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(動 物、おばけ)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜		11	発声、コンコー: ズニー映画から)	の歌(ディ		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する	
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(わら べうた)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜		12	発声、コンコージの歌)	ネ50番、こども	の歌(英語		科書の知 を歌唱す		授業で歌唱した曲 を暗譜する
接業の概要 声楽1に引き続き呼吸法、発声法を 学び、さらに集団を動かす声作り、 声の使い方についても学ぶ。たくさ んの竜謡・唱歌、様々なこどもの歌	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌 (レク リエーション)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜		13		声、コンコーネ50番、こどもの歌(これ で学修した曲の復習)				っているる	授業で歌唱した曲 を暗譜する
を歌唱し、保育現場でその提供の仕 方(姿勢、表情、声のかけ方)など についても学ぶ。さらには童謡の作 曲家についても学修する。適宜、個	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌 (から だ、野菜)	教科書の知っている 歌を歌唱する		業で歌唱した曲 暗譜する		発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験 課題曲の復習)			試!! る	試験課題曲を暗譜す る		授業で歌唱した曲 を暗譜する
人レッスンを行う。	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌 (アニ メソング)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜		15	まとめ(課題曲の	剣)	試り	険課題曲	を暗譜す	授業で歌唱した曲 を暗譜する	
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(テレ ビ番組の曲)	教科書の知っている 歌を歌唱する	授業で を暗譜			1			į			•
教科書・テキスト等		Tポケットいっぱいのうた実践子どもの歌(著 0番 中声用(全音楽譜出版社)	育芸術社), コンコー	成績評価	平常点(態期末テスト	 評価方法 態度・行動観察)		f動観察) 20% 授業		評価のポイン 授業への集中、課題への取り組み 歌唱による試験			
参考書・参考資料等				基準									

科目名		担当者	担当形態	耳	单位数		対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー	
KC1M1E21 幼児の音楽あそび		神野 和美	単独	2	2 単位	;	未来創造学科 1年次	前期	必修	選択必修	必修		ABCDEF	
授業のテーマ及び到達目標			授 業 計 画											
○歳から6歳までの発達に沿って必要な販やしぐさを修得する。幼児の 集団遊びの種類や性質を整理し、い ろいろな場面で遊びこなせる力をつける。子どもの身近な遊具や道具を	1	学修内容 オリエンテーション 幼児の音楽あそびの授業内容について	事前学修 教科書の目次を確認 しておく		後学修容の確認	9	幼児(減り増える	学修内容 3遊び)	課	事前: 題の予習:		事後学修 曲分析シート作成 8		
使っても遊べるよう経験を積む。			p	1		10 乳児の遊び歌②と							曲分析シート作成9	
				2			幼児(隊伍の遊び				題の予習	•	曲分析シート作成10	
授業の概要	4		課題の予習115p~ 119p	曲分析:	シート作成	12	幼児(道具を使う	う遊び)		動	きやすい	报装	曲の復習	
教育者として乳幼児に関わるときに 最も大事な役割は、人間育成の手助 けである。身体的言語的発達がまだ 未熟な子どもに対し芸術、特に音楽	5	幼児(鬼決め・数え歌)		4			幼児の実践のたる			偶	数番号シ	- }	授業の復習	
を通しての教育は大変重要でかつ一 番子どもにとって身近な媒体であ る。そのはじめの一歩として、自分 自身の声と身体(身近な道具も)を	6 乳児の遊ばせ遊び (手を使った遊び) 課題の予習103p・ 114 p		114 р	曲分析: 5	シート作成	14	わらべうた総復習		全てのシート			ŀ	授業の復習	
使って乳幼児に寄り添えるわらべう たをしっかり身につける。	·			6	シート作成	15	まとめ			実備	技試験の	ための準	曲分析シートのま とめ, 試験の準備	
		こもりうた	103р	曲分析: 7	シート作成									
教科書・テキスト等	わり	らべうた わたしたちの音楽 一保育圏・幼稚園	ਗの実践→(明治図書)	評価	期末試験 平常点(態	評価方法 態度・行動観察)		0070	実技試験 授業の参	評価のポイント に加態度、予習復習の準備				
参考書・参考資料等				基準	レポート(シー	F)	20%	課題の取	り組み、毎	回の積み	重ね		

科目名		担当者	担当形態	È	単位数		対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	呈 保育士	音楽療法	ディブロマポリシー
KC1M1E22 幼児の音楽指導法		神野 和美	単独	:	2 単位		未来創造学科 1年次	前期	必修 選択		選択必修		ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標					授 業	È	計 画						
乳児では、子どもの発達の順次性を	回	学修内容	事前学修		後学修	回		学修内容			事前:	事後学修	
理解した上で最適な遊い歌を選べる 力をつけ、いろいろな場面での応用 力が身につくようになる。幼児では 複数の遊びや歌を一つの実践として 組み立てる(計画を立てる)ことが できるようになる。	-	オリエンテーション 幼児の音楽指導法の授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内	容の確認	9	音楽課業の実践		5,	7回目の後	[習	復習	
	2	なぜわらべうたか	課題の予習19p~	プリン	トの復習	10	乳児の計画②			課	題の予習	計画表完成	
	3	わらべうたの力	課題の予習23p~	まとめ	复習	11 3	幼児のレパート	リー表作り		特	になし	表の完成	
	4	子どもの身体発達	特になし	シート	の記入	12	幼児の課業の実	践案作り①		復	習		シート記入
授業の概要 「乳幼児の音楽あそび」で習得する たくさんの歌を、具体的にどのよう な場面で活かせるのかという場面を	5	音楽課業の組み立て①	課業の予習121p~	まとめ	復習	13	幼児の課業の実	践案作り②		復	習		課業実践案の作成
イメージしたり、またどのように組 み立てて表現していくことで子ども との芸術を通した教育が活かされる のかを学んでいく。	6	乳児の生活	50p~61p	授業の復習		14	実践練習			実	践案確認		実践練習の振り返 り
	7 音楽課業の組み立て② 課題の予習133p~ 復刊		復習		15	これまでの総ま		実備	技試験の	ための準	これまでの復習と 試験の準備		
	8	乳児の計画①	4と6回目の復習	授業の復習			ı			<u>!</u>			ı
	わら	わらべうた わたしたちの音楽 -保育園・幼稚園の実践-(明治図書)			評価方法			割合(%)	1		評価の		
教科書・テキスト等	教科書・テキスト等			成績評価	期末試験		行動観察)	50% 30%	筆記課題 授業の参				
参考書・参考資料等				基準	レポート	(シー	· F)	20%	組み				

科目名		担当者	担当形態	È	单位数		対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1E23 音楽基礎演習		木村 博子	演習	:	2 単位	-	未来創造学科 1年次	前期	必修				CDE
授業のテーマ及び到達目標					授 業	i	計画						
楽譜の読み書きに慣れ、与えられた 楽譜や童謡曲において、リズムや音 が正しく理解でき、豊かに表現でき るようになる。	_	学修内容 オリエンテーション 音楽の基礎(理論とソルフェージュ)	事前学修 シラバスを読む		後学修 ストの復習	9	音階と調 (長音階) ハ長調	学修内容	長調		事前 キストP6 んでくる		事後学修 (ハ・ト・ニ) 長 調の音階を弾く・ 歌う・書く
	2	音名、音符と休符、五線譜	テキストP8〜P22を 読んでくる		読む・歌 く・書く		音階と調 (長音階) へ長調	調・変ロ長調		1	I回の復習 P69∼P79 る		(へ・変ロ) 長調 の音階を弾く・歌 う・書く
	3	ソルフェージュ・単純拍子	2・3・4拍子の童 謡曲を調べる		子の旋律を 歌う・書く		音階と調 (短音階) イ短調 調	調・ホ短調・ニ	テキストP95〜P100を 読んでくる			5~P100を	(イ・ニ・ト・ ホ) 短調の音階を 弾く・歌う・書く
授業の概要	4	ソルフェージュ・単純拍子	6・9・12拍子の 童謡曲を調べる		子の旋律を 歌う・書く	12	旋律的短音階と和	和声的短音階・	関係調		÷ストP1∙ ÷読んでく		関係調の理解と童 謡曲の移調・移調 奏
保育や幼児教育に役立つ音楽の基礎 を理論とソルフェージュの両側から 学ぶ。「歌う」「リズム打ち」「音 符を読む・書く」「音を聴き分け	-	音程 音程の読み方と内容について音程	テキストP86〜P90を 読んでくる	音程・	度数につい を深める	13	和音 テ 主要三和音と属七の和音						主要三和音と属七 の和音の基本形を 弾く・歌う・書く
る」などの演習を通して基礎的な技 術を身につける。	_	音程 長・短系の音程について	2・3・6・7度音 程を読む・弾く・歌 う		ついて理解を深め		和音とコードネー	: コードネーム デキストP を読んでく					童謡曲をコードで 伴奏
		音程 完全系の音程について	1・4・5・8度音 程について		の音程につ 解を深める	15 まとめ					れまでの ・復習	授業内容	試験の振り返り
	8	音楽用語・記号について (速度・強弱・曲想) 記号	テキストP135〜P142 を読んでくる		用語の理解					•			
教科書・テキスト等	楽譜	·書が読める・弾けるステップ20(甲斐彰著 音楽	之友社)	成績評価	期末試験課題	評価方法		割合(%) 60% 筆記、実技試験への 20% 課題への取り組み			評価の		
参考書・参考資料等				基準	平常点			20%	授業への積極的な取り組み				